

「たけとよ地域クラブ通信」

～やってみたい！が きっとある。～



武豊町教育委員会
生涯学習スポーツ課
第7号 令和8年1月

伝統を未来へつなぐ THC（武豊ハンドボールクラブ）

武豊中学校の体育館を拠点に活動する「THC（武豊ハンドボールクラブ）」。この日は体育館をフルコートで使い、広々とした空間の中で試合形式の練習が行われていました。指導にあたるのは代表と大学生指導者の2名。町内外を問わず、小学生から中学生までを受け入れ、幅広い年代がハンドボールに親しんでいます。代表は「伝統ある武豊中学校のハンドボールの歴史を絶やしてはいけない」と語り、技術だけでなく人間性を育てることを大切にしています。

「人間力が技術を生む」という考えのもと、ゲームの中での駆け引きや、ハンドボールならではの面白さを伝える指導を行っています。中学校での練習も基礎に偏らず、次につながるメニューを意識。「中学3年間はあっという間。一生続けてほしい」という思いで、全国制覇という大きな目標も掲げています。大学生指導者は「ハンドボールが好きなので、これからも予定が合えば協力したい」と話し、世代を超えた支えがクラブを支えています。生徒からは「部活動よりハードだけど好き」「小学校でドッジボールをしていて、ハンドボールに興味を持った」「大会に出たい」「部活動の延長として続けられるのが良い」「家族も応援してくれる」

「練習時間が長く、できる技が増えた」といった声が聞かれました。練習試合や公式試合にも数多く出場し、9月の立ち上げ当初と比べると、一人ひとりの成長がはっきりと感じられます。

伝統と挑戦を胸に、THCはこれからもコートに立ち続けます。



フルコートで実践的な練習

技術も人間力もコートで育つ



大学生指導者とともに

■ お問い合わせ先
武豊町生涯学習スポーツ課 TEL：0569-73-2424
地域クラブ活動についての最新情報は、町ホームページやHome&Schoolを通じてお知らせします。

水泳を一生の力に 武豊町スポーツ協会水泳部



現役コーチによる丁寧な指導



地域で育つ、水泳の力

「楽しく水泳を」その言葉をモットーに活動しているのが、武豊町スポーツ協会水泳部です。代表の植田さんは、自身が水泳を続けてきた経験から、町にプールが整備される構想段階から関わり、これまで「みそたろうカップ」を5回開催してきました。部活動の地域移行が進む中、「子どもたちが活躍し続けられる場をつくりたい。水泳を嫌いにならず、人生の歩みの中で水泳が力になってくれたらうれしい」と植田さんは語ります。目標は、水泳を続ける子どもを増やすこと。ケガをしてもリハビリとして取り組める水泳を、生涯スポーツとして親しんでほしいと願っています。この日は、名古屋市のスイミングスクールで指導する現役コーチが参加し、泳ぎだけでなく、自宅でもできる姿勢づくりやストレッチについて、わかりやすく指導を行っていました。生徒からは「家にいるとゲームばかりなので、土日に活動できてうれしい」「大会に出たい、もっと速くなりたい。まずは自己ベスト更新を目指している」「もっと練習したい、これからも続けたい」と前向きな声が聞かれました。また、「小さい頃から続けてきた水泳で、県大会出場を目標にしている」という生徒もいます。現在は、プールの利用状況との兼ね合いから、武豊中学校水泳部の生徒を対象に活動しています。それぞれの自己ベストに向かって水と向き合う子どもたち。その一步一步を支えながら、武豊町スポーツ協会水泳部は、泳ぐ楽しさと続ける喜びを伝えています。

武豊地域クラブを探すなら武豊町HPで検索！

武豊町では現在、中学生が参加できる17種目、22の地域クラブ団体が、スポーツや文化芸術の活動を行っています。お子さんが興味のある地域クラブがあれば、ぜひ参加をご検討ください。見学希望や、団体への質問がある場合は、配信メールに記載されたURLから各団体へ直接連絡をしてください。